

採択拠点の拠点形成概要及び採択理由

【分野名：社会科学】

大 学 名	京都大学	整理番号	I - 1
拠点のプログラム名称	21世紀型法秩序形成プログラム		
中核となる専攻等名	法学研究科公法専攻		
事業推進担当者	(リダー)大石 眞 外24名		
<p>(拠点形成の概要)</p> <p>本拠点は、法学・政治学において揺るぎない地位を占めてきた「京都学派」の学問的蓄積の上に、法制度及び政治・行政過程について、実態の解明と理論的検討との両面から、グローバル化・情報化などによって変貌する21世紀社会の実相に迫るものである。その際、近代法から現代法そして脱近代法へという法システムの変容を原理的・体系的に考察する理論的研究と、国家アクター・市場・市民社会の各局面における実証的研究とを並行させ、細分化された法学及び政治学における諸領域の総合化をそれぞれ図るとともに、戦後必ずしも密接な連関をもってきたとは言い難い法学と政治学との再結合を図ろうとする。そして、今般の司法制度改革にもうたわれている「自律的個人を基礎とする自由で公正な社会」の実現に向けて、21世紀に適合的な法システムと秩序形成のあり方を探求し、これを基礎として組織化・制度化された形での政策提言機能を積極的に果たそうとするものである。</p>			
<p>(採択理由)</p> <p>現今の法学、政治学が直面している大問題に正面から挑もうとしているスケール壮大な計画で、かつ担当者も既に高い研究水準にある構成員を中心に行っているため、世界のリーダーを目指した研究教育拠点を形成することが期待できる。また大学の将来構想の中に拠点形成が十分に位置づけられ、支援も期待できる。</p>			